

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ ②6

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「城崎・竹野の文化財」

この歴史探訪~文化財を巡る~シリーズも、残すところ5回になりました。

そこで、今回からは、今まで取り上げてきた文化財を地域ごとにまとめていきます。中には未紹介や未指定の文化財もありますが、地域の特徴を見ていく上で欠くことのできないものは取り上げています。

城崎地域を巡る

歴史を感じさせる風情の残る城崎温泉街は、昭和初期に新たにつくられた町であることをご存じでしょうか。大正14年5月



▲温泉寺宝篋印塔と温泉寺多寶塔(市指定建造物)

に起きた北但大震災で、城崎は壊滅状態でした。その復興に際して温泉街を大正ロマン^{かお}の街として整備^{おおたに}するため、温泉街の中央を流れる大谿川を拡幅し、川護岸に地震で崩れた玄武洞から運んだ玄武岩を積み上げ、王橋や弓形橋群を架けました。併せて道路も広げ、震災前からの三階建て木造旅館を復元し、火災に弱い木造家屋の所々に鉄筋で造った外湯や、町役場・警察署・郵便局などの公共施設を配置して、防火帯の役目を持たせました。



▲王橋と柳と一の湯

奇跡的に震災の被害を受けなかった温泉寺には、古くから温泉街を守る寺院として「温泉寺本堂」をはじめ、「木造千手観音像」や「木造十一面観音像」、「絹本著色十六善神像」(国指定絵画)、「温泉寺宝篋印塔」(国指定建造物)など数多くの文化財が大切に保存されています。

竹野地域を巡る

町の中央を流れる竹野川とその支流の流域に、また日本海沿岸に文化財が多くあります。特に、海岸部の文化財は「切浜のはさかり岩」、「波食^{はしよく}罅^{あな}穴群^{けつ}」、「宇日流紋岩の流理」など、日本海の荒海によって形作られた奇観・奇岩が見られ、山陰海岸国立公園やジオパークの見どころの一つともなっています。

また、日本海を見下ろす断崖の上に造られた「ヨゴレババ古墳群」に



▲木造十一面観音菩薩立像(蓮華寺)

は、海上権を握っていた人物が葬られていたと考えられています。



▲日本海と断崖上のヨゴレババ古墳群

江戸時代後期から明治時代にかけて、日本海行き来で利益を得ていた北前船は、新船建造の際に作った「飾千石船」で航海を祝い、安全祈願のために絵馬などを鷹野神社「鷹野神社海上信仰資料」や興長寺熊野堂「興長寺熊野堂海上信仰資料」(ともに市指定有形民俗文化財)として奉納しています。

竹野川中流域では、中世に勢力を持った山名氏が、月庵宗光(「絹本淡彩月庵宗光像」県指定絵画)を迎えて円通寺を開山し、それまでにあった寺院も庇護しました。轟にある蓮華寺には「絹本著色大日如来像」(絹本著色愛染明王像)(ともに県指定絵画)や「木造聖観音菩薩立像」「木造十一面観音菩薩立像」(ともに市指定彫刻)など、数多くの文化財が大切に保存されています。また、「轟の太鼓踊り」や「轟大神楽」などの伝統芸能も、この寺を中心に伝承されています。

●発行／豊岡市
☎0796-231111
FAX23-1124
市長室 FAX24-1004

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎47-311111
・出石 ☎52-311111
・但馬 ☎54-542321
・城崎 ☎32-100011
・日高 ☎42-100011
・豊岡 ☎23-100011